

# 将来にわたって安定した公共サービスを提供するために

## 出雲市行財政改革大綱及び第1期実施計画を策定

市では、平成17年度に「21世紀出雲市行財政改革大綱」を策定し、この方針をふまえた「第1期・第2期実施計画」に基づき、さまざまな行財政改革に取り組んできました。

しかしながら、市の財政状況が厳しいうえに、国の交付税の減額や社会保障費の増額などにより、今後さらに深刻化する見通しであり、さらなる行財政改革の取組が必要となっています。

そのため、新たに「出雲市行財政改革大綱」と、この大綱に基づく「出雲市行財政改革第1期実施計画」を策定しました。

市民の皆さんに、将来にわたって安定した公共サービスを提供できるよう、一刻も早い財政健全化を目指し、今年度から平成28年度までの3か年を集中改革期間と位置づけ、スピード感を持って行財政改革に取り組みしていきます。

### 行財政改革大綱の概要

新たな行財政改革大綱では、次の基本的な考え方・方針のもとに行財政改革の取組を進めることを定めています。

#### ■さらなる行財政改革の

#### 基本的な考え方

平成24年12月に策定した「出雲市財政計画」では、今後10年間で財政調整基金などを繰り入れても、なお137億円の収支不足が生じると見込んでいます。そのため、本大綱では財政計画の目標値をガイドラインとした取組を進めます。

	目標値 (平成34年度末)	現状 (平成24年度末)
歳出規模の抑制	650億円～700億円程度	803億円
市債残高の削減	800億円程度	1,331億円
実質公債費比率の目標	18%未満	21%
確保すべき基金残高	最低限20億円	34億円

※実質公債費比率…自治体の標準的な収入に対する負債返済の割合を示します。通常、3年間の平均値を使用します。18%以上になると、新たな借金をするために国や都道府県の許可が必要となり、25%以上になると借金を制限されます。

#### ■基本方針

##### I. 数値化・可視化に努めた

##### 積極的な情報公開

市の財政状況や行財政改革への取組状況等を可能な限り数値化・可視化し、わかりやすく情報公開することで市民の皆さんの理解を得られるよう努めます。

##### II. 数値目標や明確に区別すべき

##### 基準を設定した聖域なき

##### 行財政改革

市の規模に見合った安定的な財政運営に向け、具体的な目標値を掲げつつ、市の担うべき役割を明確化するための一定の基準や費用対効果の視点をもって、全ての事務事業を検証します。

##### III. 丁寧な説明をしつつ、

##### 決断力とスピード感を持った

##### 行財政改革の実施

市民生活に密着した事業の見直しに際しては、理解・協力を

得られるように丁寧に説明を行うとともに、決断すべきときは決断し、問題を先送りしません。

#### ■さらなる行財政改革に

#### 向けた行程

○新たな行財政改革大綱は、平成26年度からおおむね10年間の行財政改革の指針とし、前期・後期各5年間の実施計画を策定します。特に平成26年度からの3か年を集中改革期間と位置付けて積極的に取り組みます。

○実施計画の進行管理は、行財政改革審議会で年度ごとに検証し、必要に応じて計画を見直します。その結果は、市議会への報告や広報紙、ホームページで公開します。

○さらなる行財政改革を強力に推進し進めるため、全庁の取組を横断的に把握・分析・管理・推進するための新たな部署（行政改革部）を設置して取り組みます。

## 第1期実施計画の概要

新たな行財政改革大綱に基づき、第1期5年間(平成26年度～平成30年度)の取組を具体的に定めています。

### ■個別の実施計画

<p>1. 効率的・効果的な行財政運営</p>	<p><b>(1) 事務事業の適正な推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての事務事業について、「公共性」「公平性」「有効性」及び「効率性」の視点から基準となる「ものさし」を設けて明確に区別し、選択と集中による事業実施または廃止・縮小に努めます。</li> <li>○事業の廃止・縮小等にあたっては、丁寧な説明で関係者の理解を得るよう努めます。</li> </ul> <p><b>(2) 補助金・負担金及び扶助費のあり方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○補助金等は、地域経済や地域の活性化等、市の重点施策に沿ったもの、あるいは市民生活に欠かせないものを対象とし、優先度を勘案しながら見直しを行います。</li> </ul> <p><b>(3) 外郭団体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各団体の経営の安定化、管理運営の効率化を図るとともに、市の関与の必要性が低いと判断した団体は、出資金の減額及び民営化を進めます。</li> </ul>
<p>2. 公共施設のあり方と管理運営</p>	<p><b>(1) 公共施設の今後のあり方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の存続、統廃合・譲渡を検討するための基準となる「ものさし」を設け、市の規模に応じた適正な施設数にすることを目指します。</li> </ul> <p><b>(2) 公共施設の管理運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現在保有している施設を適切に管理する一方、直営施設、指定管理施設に限らず経費削減に向けた取組を進めます。</li> </ul>
<p>3. 組織・機構と適正な人員管理</p>	<p><b>(1) 時代に即応した組織・機構</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○喫緊の行政課題に即応し、効率的・効果的な運営を行うために、本庁・支所とともに継続的に組織・機構の見直しを行います。</li> </ul> <p><b>(2) 適正な人員管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○110名の人員削減目標を早期達成するとともに、事務事業の見直しを行い、適正な職員数及び年齢構成の是正に努めます。また、特別職を含めた職員の総人件費の抑制に努めます。</li> </ul>
<p>4. 財源の確保と債務の抑制</p>	<p><b>(1) 使用料・手数料の見直し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設運営のため、公平な受益者(利用者)負担を考慮した適正な施設使用料を設定します。</li> <li>○施設使用料以外の使用料・手数料は、処理コスト等を考慮した適正な設定を行います。</li> </ul> <p><b>(2) 財源の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市税等の収納対策のさらなる強化を図るとともに、市の保有する資産の処分や有効活用を進めます。</li> </ul> <p><b>(3) 起債の抑制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共事業費を適正規模に縮減し、市債の新規発行額を抑制するとともに、繰上償還を実施します。</li> </ul>

### ■数値目標

(単位:百万円)

	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	合計
財政効果目標額	1,093	1,224	1,414	1,413	1,456	6,600
1. 効率的・効果的な行財政運営	15	230	290	290	340	1,165
2. 公共施設のあり方と管理運営			230	230	230	690
3. 組織・機構と適正な人員管理	776	500	400	400	400	2,476
4. 財源の確保と債務の抑制	302	494	494	493	486	2,269

※出雲市行財政改革大綱及び第1期実施計画の詳細は、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

おたずね/行政改革部 ☎ 21-6265